

海賊対処の第17次派遣航空隊が無事任務を終え帰国する

～ 派遣海賊対処行動航空隊（第17次隊）帰国行事の様相 ～

ソマリア沖・アデン湾における海賊対処のための第17次派遣航空隊が、昨年10月1日に日本を発って以来、約4か月ぶりとなる2015年2月22日に厚木基地(神奈川県)へ帰国した。

同航空隊は、草野信也指揮官の下、2機のP-3C哨戒機と約200名の隊員により編成され、アデン湾海域の哨戒活動や情報提供等を実施した。

同基地で行われた出国行事では、原田憲治防衛大臣政務官及び鮎田英一自衛艦隊司令官より、派遣隊への訓示などが述べられた。

当協会からは、株式会社 商船三井 根本 正昭 専務執行役員や日本郵船(株) 庄司 勉 経営委員他が出席し、派遣部隊の指揮官らにお礼を申し上げるなど、派遣部隊の方々のご苦勞に対しあらためて感謝の意を表した。

(海務部 小山)

厚木帰国行事



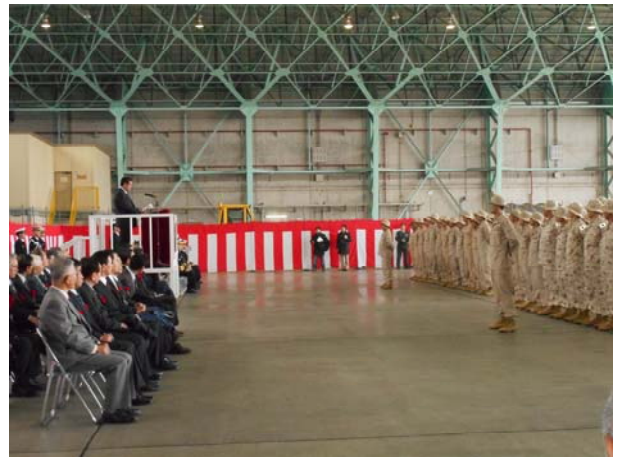
着陸したP-3C哨戒機



帰国式会場へ移動をする派遣隊員の方々



帰国式会場で整列する派遣隊員



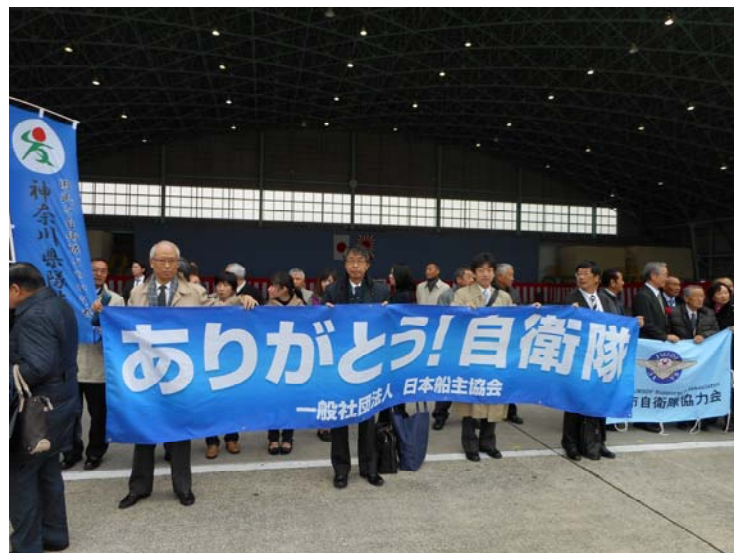
草野指揮官ほか派遣隊員の方々に訓示を行う原田防衛大臣政務官



派遣隊員に訓示を行う鮎田自衛艦隊司令官



当協会を代表して隊員の方々に対し感謝の意を申し述べる（株）商船三井 根本 専務執行役員



横断幕を持ち、派遣隊員を出迎える日本船主協会関係者